

運用報告書 (全体版)

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2010年10月8日から2025年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-AUDクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド(マルチ・カレンシー)ファンド-AUDクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、豪ドルを買い予約する為替取引を行います。	
組入制限	新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	国内短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかわらず、前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第131期	<決算日	2021年10月25日>
第132期	<決算日	2021年11月25日>
第133期	<決算日	2021年12月27日>
第134期	<決算日	2022年1月25日>
第135期	<決算日	2022年2月25日>
第136期	<決算日	2022年3月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース」は、2022年3月25日に第136期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込み	騰落 率			
		円	円	%	%	%	百万円
第19作成期	107期(2019年10月25日)	3,402	20	1.8	97.2	0.1	1,299
	108期(2019年11月25日)	3,356	20	△0.8	97.8	0.1	1,273
	109期(2019年12月25日)	3,502	20	4.9	94.7	0.1	1,303
	110期(2020年1月27日)	3,456	20	△0.7	97.4	0.1	1,271
	111期(2020年2月25日)	3,377	20	△1.7	98.2	0.1	1,210
	112期(2020年3月25日)	2,483	20	△25.9	98.2	0.1	882
第20作成期	113期(2020年4月27日)	2,843	20	15.3	96.8	0.1	993
	114期(2020年5月25日)	2,962	20	4.9	97.1	0.1	1,031
	115期(2020年6月25日)	3,167	20	7.6	97.3	0.1	1,081
	116期(2020年7月27日)	3,276	20	4.1	97.1	0.1	1,103
	117期(2020年8月25日)	3,320	20	2.0	97.8	0.1	1,109
	118期(2020年9月25日)	3,183	20	△3.5	96.8	0.1	1,056
第21作成期	119期(2020年10月26日)	3,231	20	2.1	97.1	0.1	1,049
	120期(2020年11月25日)	3,369	20	4.9	97.8	0.1	1,087
	121期(2020年12月25日)	3,455	20	3.1	97.1	0.1	1,105
	122期(2021年1月25日)	3,504	20	2.0	97.5	0.1	1,116
	123期(2021年2月25日)	3,649	20	4.7	96.6	0.1	1,143
	124期(2021年3月25日)	3,555	20	△2.0	97.7	0.0	1,074
第22作成期	125期(2021年4月26日)	3,585	20	1.4	98.0	-	1,052
	126期(2021年5月25日)	3,598	20	0.9	98.0	-	1,055
	127期(2021年6月25日)	3,598	20	0.6	96.8	-	1,051
	128期(2021年7月26日)	3,490	20	△2.4	97.3	-	991
	129期(2021年8月25日)	3,404	20	△1.9	97.9	-	959
	130期(2021年9月27日)	3,411	20	0.8	96.7	-	953
第23作成期	131期(2021年10月25日)	3,564	20	5.1	96.8	-	976
	132期(2021年11月25日)	3,438	20	△3.0	96.8	-	913
	133期(2021年12月27日)	3,436	20	0.5	97.0	-	911
	134期(2022年1月25日)	3,336	10	△2.6	97.5	-	875
	135期(2022年2月25日)	3,244	10	△2.5	97.1	-	830
	136期(2022年3月25日)	3,571	10	10.4	97.7	-	907

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第131期	(期首) 2021年9月27日	3,411	—	96.7	—
	9月 末	3,411	0.0	97.8	—
第132期	(期末) 2021年10月25日	3,584	5.1	96.8	—
	(期首) 2021年10月25日	3,564	—	96.8	—
第132期	10月 末	3,589	0.7	96.9	—
	(期末) 2021年11月25日	3,458	△3.0	96.8	—
第133期	(期首) 2021年11月25日	3,438	—	96.8	—
	11月 末	3,342	△2.8	96.7	—
第133期	(期末) 2021年12月27日	3,456	0.5	97.0	—
	(期首) 2021年12月27日	3,436	—	97.0	—
第134期	12月 末	3,467	0.9	97.0	—
	(期末) 2022年1月25日	3,346	△2.6	97.5	—
第135期	(期首) 2022年1月25日	3,336	—	97.5	—
	1月 末	3,253	△2.5	97.5	—
第135期	(期末) 2022年2月25日	3,254	△2.5	97.1	—
	(期首) 2022年2月25日	3,244	—	97.1	—
第136期	2月 末	3,320	2.3	97.1	—
	(期末) 2022年3月25日	3,581	10.4	97.7	—

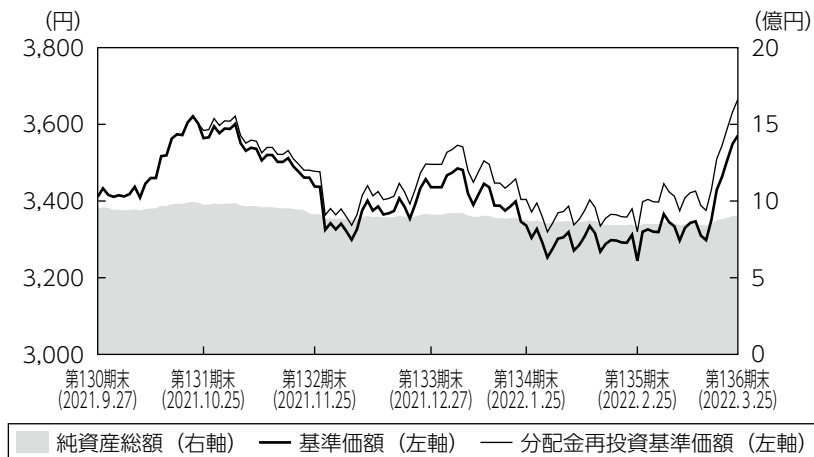
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第131期～第136期の運用経過（2021年9月28日から2022年3月25日まで）

基準価額等の推移



第131期首： 3,411円
第136期末： 3,571円
(既払分配金90円)
騰落率： 7.5%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーAUDクラス」（以下、ハイイールド・ボンド・ファンドといいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。ハイイールド債券市場が下落したものの、円安豪ドル高となったことから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

当作成期は、世界経済の回復に伴い、インフレ懸念が高まる中、米連邦準備制度理事会（F R B）を始めとして各国の金融当局が引き締め姿勢に転じたことやロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、地政学リスクが高まったことで市場がリスク回避姿勢を強めたことから、ハイイールド債券市場は下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

作成期は、国内での新型コロナウイルスに対する規制が緩和され、国内経済の回復が進んだことや、オーストラリア準備銀行の利上げ観測、資源価格の上昇などから、豪ドルは対円で上昇しました。



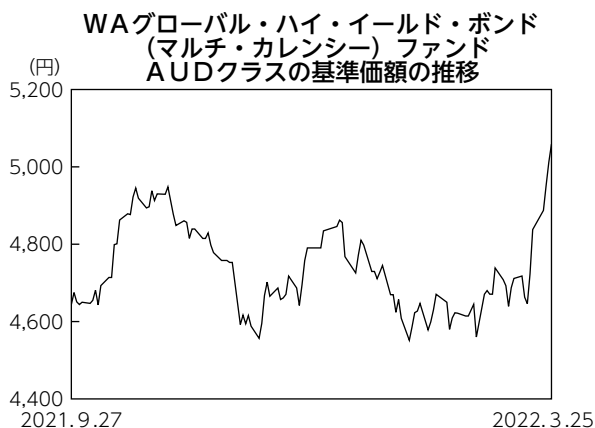
ポートフォリオについて

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。

●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド－AUDクラス

2022年3月24日時点でのポートフォリオの状況は、キャッシュを除くベースで保有銘柄数は105銘柄、地域別では米国を選好しました。信用格付け別では、B格やBB格の銘柄を中心の組み入れを継続しました。また、セクター別では消費者関連、通信、エネルギーなどを中心とし、市場動向等に合わせで銘柄選択を行いました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●国内短期公社債マザーファンド

当計算期間中はコールローンで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2021年9月28日 ～2021年10月25日	2021年10月26日 ～2021年11月25日	2021年11月26日 ～2021年12月27日	2021年12月28日 ～2022年1月25日	2022年1月26日 ～2022年2月25日	2022年2月26日 ～2022年3月25日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.56%	0.58%	0.58%	0.30%	0.31%	0.28%
当期の収益	20円	20円	20円	10円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,143円	1,144円	1,145円	1,157円	1,169円	1,184円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ハイイールド・ボンド・ファンドを高位に組み入れる方針です。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続する方針です。

●WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーAUDクラス

世界景気の回復は継続していますが、FRBを始めとして主要国の金融当局が金融引き締め姿勢を強めていることや地政学リスクの上昇などの動向を注視しています。

今後につきましても、投資対象セクターや個別銘柄の選択に注力し、将来的に財務内容の改善が期待できる銘柄など、柔軟に取捨選択しながら投資リターンを追求する方針です。

●国内短期公社債マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第131期～第136期 (2021年9月28日 ～2022年3月25日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	20円	
(投信会社)	(6)	(0.188)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(13)	(0.377)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	20	0.580	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

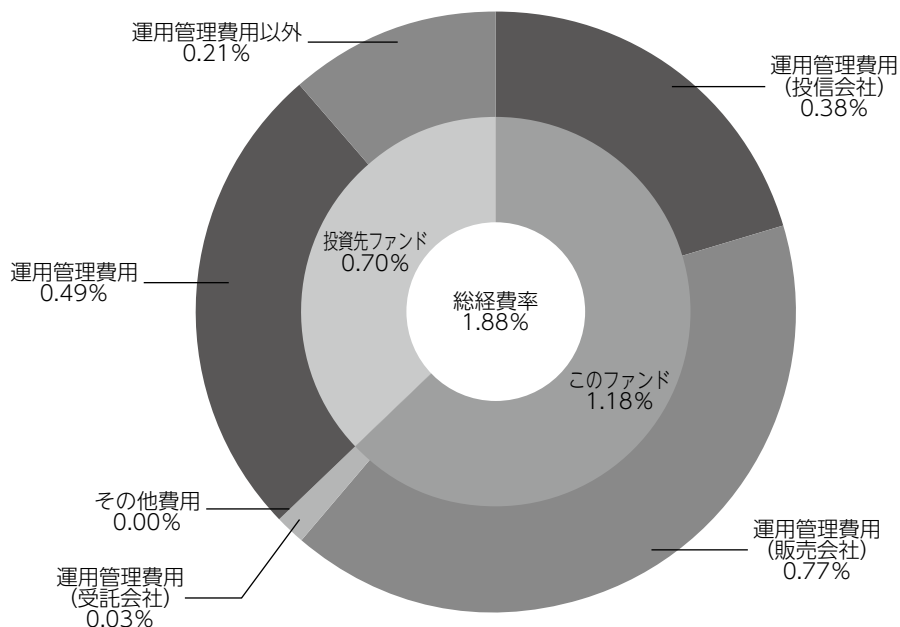
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2021年9月28日から2022年3月25日まで)

投資信託受益証券

		第 131 期 ~ 第 136 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨 建	WAグローバル・ハイ・イールド・ ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド - AUDクラス	千□ -	千円 -	千□ 138,154.456	千円 64,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年9月28日から2022年3月25日まで)

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等 (2021年9月28日から2022年3月25日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 22 作 成 期 末		第 23 作 成 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	評 価 額
WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド - AUDクラス	千□ 1,983,733.807	千円 1,845,579.351	千□ 886,431	評 価 額 千円 886,431
合 計	1,983,733.807	1,845,579.351	886,431	比 率 97.7

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 22 作 成 期 末		第 23 作 成 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	評 価 額
国内短期公社債マザーファンド	千□ 1,193	千円 1,193	千□ 1,193	千円 1,201

■投資信託財産の構成

2022年3月25日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 886,431	% 97.1
国内短期公社債マザーファンド	1,201	0.1
コール・ローン等、その他	25,689	2.8
投 資 信 託 財 産 総 額	913,323	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年10月25日)、(2021年11月25日)、(2021年12月27日)、(2022年1月25日)、(2022年2月25日)、(2022年3月25日)現在

項 目	第 131 期 末	第 132 期 末	第 133 期 末	第 134 期 末	第 135 期 末	第 136 期 末
(A) 資 産	985,561,895円	940,042,514円	917,492,291円	878,755,313円	833,871,320円	913,323,211円
コール・ローン等	21,654,208	27,920,316	32,826,807	23,790,861	26,520,589	25,689,778
投資信託受益証券(評価額)	945,806,016	884,220,527	883,463,813	853,762,781	806,149,060	886,431,762
国内短期公社債マザーファンド(評価額)	1,201,671	1,201,671	1,201,671	1,201,671	1,201,671	1,201,671
未 収 入 金	16,900,000	26,700,000	-	-	-	-
(B) 負 債	8,769,803	26,716,734	6,240,989	3,479,905	3,430,163	6,138,536
未払収益分配金	5,481,725	5,313,777	5,303,642	2,624,077	2,560,217	2,540,352
未払解約金	2,409,093	20,428,463	-	-	-	2,815,194
未払信託報酬	876,834	972,107	935,051	853,735	867,821	781,074
その他未払費用	2,151	2,387	2,296	2,093	2,125	1,916
(C) 純資産総額(A-B)	976,792,092	913,325,780	911,251,302	875,275,408	830,441,157	907,184,675
元 本	2,740,862,752	2,656,888,871	2,651,821,027	2,624,077,863	2,560,217,004	2,540,352,402
次期繰越損益金	△1,764,070,660	△1,743,563,091	△1,740,569,725	△1,748,802,455	△1,729,775,847	△1,633,167,727
(D) 受 益 権 総 口 数	2,740,862,752□	2,656,888,871□	2,651,821,027□	2,624,077,863□	2,560,217,004□	2,540,352,402□
1万口当たり基準価額(C/D)	3,564円	3,438円	3,436円	3,336円	3,244円	3,571円

(注) 第130期末における元本額は2,794,168,576円、当作成期間(第131期~第136期)中における追加設定元本額は2,450,859円、同解約元本額は256,267,033円です。

■損益の状況

〔自 2021年 9月28日 至 2021年10月25日〕〔自 2021年10月26日 至 2021年11月25日〕〔自 2021年11月26日 至 2021年12月27日〕〔自 2021年12月28日 至 2022年 1月25日〕〔自 2022年 1月26日 至 2022年 2月25日〕〔自 2022年 2月26日 至 2022年 3月25日〕

項 目	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
(A) 配 当 等 収 益	6,918,176円	6,663,967円	6,614,259円	6,616,468円	6,480,464円	6,441,030円
受 取 配 当 金	6,918,348	6,664,384	6,614,732	6,616,613	6,480,675	6,441,085
支 払 利 息	△172	△417	△473	△145	△211	△55
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	41,341,886	△33,910,198	△704,924	△29,581,120	△26,587,248	80,068,813
売 買 益	41,460,037	879,883	46,305	103,824	568,197	80,282,699
売 買 損	△118,151	△34,790,081	△751,229	△29,684,944	△27,155,445	△213,886
(C) 信 託 報 酬 等	△878,985	△974,494	△937,347	△855,828	△869,946	△782,990
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	47,381,077	△28,220,725	4,971,988	△23,820,480	△20,976,730	85,726,853
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△802,723,170	△737,404,050	△769,335,924	△761,493,269	△768,680,856	△785,977,512
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,003,246,842	△972,624,539	△970,902,147	△960,864,629	△937,558,044	△930,376,716
(配 当 等 相 当 額)	(203,311,062)	(197,098,852)	(196,741,216)	(194,699,582)	(189,971,858)	(188,510,840)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,206,557,904)	(△1,169,723,391)	(△1,167,643,363)	(△1,155,564,211)	(△1,127,529,902)	(△1,118,887,556)
(G) 合 計 (D + E + F)	△1,758,588,935	△1,738,249,314	△1,735,266,083	△1,746,178,378	△1,727,215,630	△1,630,627,375
(H) 収 益 分 配 金	△5,481,725	△5,313,777	△5,303,642	△2,624,077	△2,560,217	△2,540,352
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△1,764,070,660	△1,743,563,091	△1,740,569,725	△1,748,802,455	△1,729,775,847	△1,633,167,727
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,003,246,842	△972,624,539	△970,902,147	△960,864,629	△937,558,044	△930,376,716
(配 当 等 相 当 額)	(203,311,062)	(197,098,852)	(196,741,216)	(194,699,582)	(189,971,858)	(188,510,840)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,206,557,904)	(△1,169,723,391)	(△1,167,643,363)	(△1,155,564,211)	(△1,127,529,902)	(△1,118,887,556)
分 配 準 備 積 立 金	110,010,474	106,999,795	107,150,614	109,149,172	109,531,890	112,511,453
繰 越 損 益 金	△870,834,292	△877,938,347	△876,818,192	△897,086,998	△901,749,693	△815,302,464

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,792,123円	5,689,457円	5,676,894円	5,760,637円	5,610,510円	6,382,697円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	203,311,062	197,098,852	196,741,216	194,699,582	189,971,858	188,510,840
(d) 分 配 準 備 積 立 金	108,700,076	106,624,115	106,777,362	106,012,612	106,481,597	108,669,108
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	318,803,261	309,412,424	309,195,472	306,472,831	302,063,965	303,562,645
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,163.15	1,164.57	1,165.97	1,167.93	1,179.84	1,194.96
(g) 分 配 金	5,481,725	5,313,777	5,303,642	2,624,077	2,560,217	2,540,352
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	10	10	10

■分配金のお知らせ

決算期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド (マルチ・カレンシー) ファンド

－ J P Yクラス／USDクラス／AUDクラス／BRLクラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運用方針	<p>主として世界各国の高利回り社債に分散投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。また、効率的な運用を目的として、市場金利や企業の信用状態に関連するデリバティブ取引を行う場合があります。</p> <p>米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り／米ドル買いの為替取引を行います。その上で、クラスごとに以下の為替取引を行います。</p> <p>J P Yクラス：原則として、米ドル売り、円買いの為替取引を行います。</p> <p>USDクラス：原則として、為替取引は行いません。</p> <p>AUDクラス：原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。</p> <p>BRLクラス：原則として、米ドル売り、ブラジルレアル買いの為替取引を行います。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、信用格付けがBB＋／B a 1 格相当以下の証券に純資産総額の80%以上を投資します。 ・同一発行体の証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。 ・他のファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。 ・通常の状態において、日本において有価証券に属する証券に純資産総額の50%以上を投資します。
信託期間	無期限
決算日	毎年3月31日
信託報酬等	<p>純資産総額に対し年率0.50%程度</p> <p>上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社、保管受託銀行ならびに管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これら報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。</p>
主な関係法人	<p>管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社： ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・DTVM・リミターダ（サンパウロ）</p> <p>受託会社兼管理事務代行会社：BNYメロン・ファンド・マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン</p>

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーJPYクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーUSDクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーAUDクラス」、 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーBRLクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの内容

(1) 損益計算書

2021年3月31日終了年度

（日本円表示）

投資収益

利息	295,739,069円
配当金	1,084,772円
投資収益合計	296,823,841円

費用

管理会社報酬	29,733,717円
保管	11,132,135円
専門家	3,900,390円
管理事務代行、会計代行および名義書換代理人	2,080,403円
受託会社報酬	660,760円
その他	634,369円
費用合計	48,141,774円
投資純利益	248,682,067円

投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）

実現純利益（損失）	
投資	(396,784,505円)
外貨取引	1,368,227円
為替予約	(733,134,866円)
実現純利益（損失）	(1,128,551,144円)

未実現純利益（損失）の純変動額

投資	1,416,046,941円
外貨換算	10,304,525円
為替予約	585,996,404円
未実現純利益（損失）の純変動額	2,012,347,870円

投資、外貨換算／取引およびデリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	883,796,726円
営業による純資産の純増加額	1,132,478,793円

(2) 組入上位10銘柄
2021年3月31日現在

銘柄名	通貨	比率
TEVA PHARMACEUTICAL FINANCE NETHERLANDS	アメリカ・ドル	4.9%
CCO HLDGS LLC/CAP CORP	アメリカ・ドル	4.3
NEWELL BRANDS INC	アメリカ・ドル	3.7
KRAFT HEINZ FOODS CO	アメリカ・ドル	3.6
SPRINT CORP	アメリカ・ドル	3.5
VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ・ドル	3.4
FORD MOTOR CREDIT CO LLC	アメリカ・ドル	2.5
INEOS QUATTRO FINANCE 1 REGS	ユーロ	2.5
DELTA AIR LINES INC	アメリカ・ドル	2.4
BNP PARIBAS	アメリカ・ドル	2.0
組入銘柄数	119銘柄	

(注1) 比率は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの組入公社債に対する評価額の割合です。

(注2) ウェスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。

国内短期公社債マザーファンド 運用報告書

第13期（決算日 2021年11月1日）

（計算期間 2020年11月3日～2021年11月1日）

国内短期公社債マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	債先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
11期(2019年10月31日)	円 10,069	% △0.1	% 68.3	% -	百万円 147	
12期(2020年11月2日)	10,069	0.0	69.7	-	77	
13期(2021年11月1日)	10,068	△0.0	-	-	77	

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

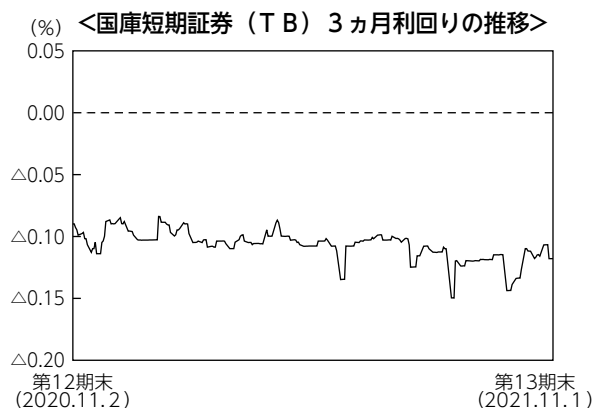
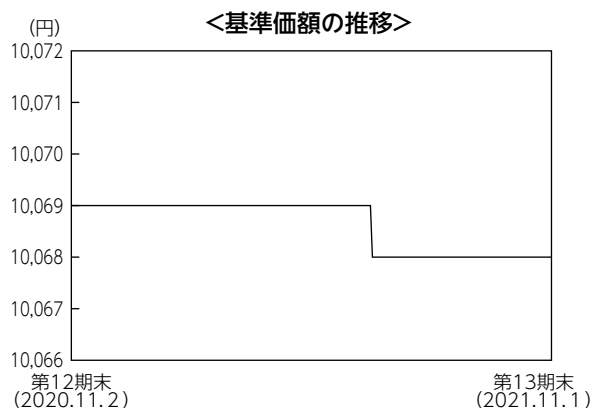
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年11月2日	円 10,069	% -	% -	% 69.7	% -
11 月 末	10,069	0.0		69.6	-
12 月 末	10,069	0.0		69.5	-
2021年1 月 末	10,069	0.0		69.5	-
2 月 末	10,069	0.0		69.4	-
3 月 末	10,069	0.0		-	-
4 月 末	10,069	0.0		-	-
5 月 末	10,069	0.0		-	-
6 月 末	10,068	△0.0		-	-
7 月 末	10,068	△0.0		-	-
8 月 末	10,068	△0.0		-	-
9 月 末	10,068	△0.0		-	-
10 月 末	10,068	△0.0		-	-
(期 末) 2021年11月1日	10,068	△0.0		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2020年11月3日から2021年11月1日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,068円となり、前期末の同10,069円から0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

基準価額の変動要因として、保有債券からの利息収入などのプラス要因はありましたが、マイナス金利による影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が大規模な金融緩和政策を続けており、国債利回りに低下圧力ががかかっていることが要因となりました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2020年11月3日から2021年11月1日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国	内 地 方 債 証 券	-	(54,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年11月3日から2021年11月1日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

2021年11月1日現在、有価証券等の組入れはございません。

■ 投資信託財産の構成

2021年11月1日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 77,882	%
投 資 信 託 財 産 総 額	77,882	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年11月1日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	77,882,674円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	77,882,674
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	77,882,674
元 本	77,357,362
次 期 繰 越 損 益 金	525,312
(D) 受 益 権 総 口 数	77,357,362口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,068円

(注1) 期首元本額 77,357,362円
 追加設定元本額 0円
 一部解約元本額 0円

(注2) 期末における元本の内訳

ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドロシアルーブルコース	2,324,574円
ハイブリッド証券ファンドインドルピーコース	2,228,133円
ハイブリッド証券ファンド中国元コース	1,130,574円
ハイブリッド証券ファンド南アフリカランドコース	236,700円
ハイブリッド証券ファンドメキシコペソコース	8,032,854円
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	1,090,474円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	955,242円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	99,759円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	943,105円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(年1回決算型)	99,177円
期末元本合計	77,357,362円

■損益の状況

当期 自2020年11月3日 至2021年11月1日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	266,731円
受 取 利 息	276,116
支 払 利 息	△9,385
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△273,037
売 買 損	△273,037
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△6,306
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	531,618
(E) 合 計(C+D)	525,312
次 期 繰 越 損 益 金(E)	525,312

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。